

## 令和8年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	18	議席 番号	9	氏名	稲 葉 晃 司 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	学校給食の現場の様子について			<p>学校給食の残食率について、令和6年度の決算審査特別委員会にて議論があった。JAふじ伊豆青壮年部富士宮地区本部の方たちからも生産者の視点をもって給食の現場を確認してみたいとの意見があったことから、富士宮市立富丘小学校の協力もいただき児童の皆さんと給食の時間を共有させていただいた。</p> <p>そこで、富士宮市の学校給食について以下伺う。</p> <p>(1) 配膳から片付けまでの時間割はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 児童、教職員が給食を食べる時間をどのように考えているのか。実際に給食の現場を確認した後の感想で、「給食を食べる時間が短いのではないか」といった意見が多かったことから、その時間設定の根拠になるものは何か。</p> <p>(3) 教育委員会は通常の授業について参観されているが、学校給食の現場はしっかりと確認できているのか。教育長が学校給食の現場を確認することはあるのか。</p> <p>(4) 低学年の児童の配膳は時間がかかってしまうように思える。特に新年度が始まった際の新一年生の配膳に対することも支援員の役割や支援員だけでなくサポートしていく工夫などは市内の小学校においてどのように取り組まれているのか。</p> <p>(5) 児童の欠席により余った給食を教職員が児童に「もっと牛乳飲める人はいるか」「もっとおかずを食べられる人はいるか」といった声かけは残食を減らすために工夫していると受け止めたが、給食を食べる時間を長くすることで、残食を減らし、ゆったりとした時間の中で、コミュニケーションも深めることができるのではないかと思ったが、市当局の考えはいかがか。</p> <p>(6) フードバレーのまち富士宮の学校給食がおいしく、安全な給食が提供されることは望ましく、限りなく追及してほしいと思う。</p> <p>さらに、学校給食の時間を通じて食べることの大切さ、生産者や自然の恵みへの感謝だけでなく、ゆっくりと時間をかけてよく噛んで食べることの実践や野菜から食べるなど学校給食の時間に考えて食べる時間を取り入れてみることで、生活習慣病になりにくい体や体質づくりにつなげていくことは予防医療の観点からも取り組むべきものと考え、市当局の見解について伺う。</p> <p>(7) 実際にこどもたちと給食を一緒にしてみても思ったことは、児童の祖父母の方たちが教育現場においてこどもたちと学校給食を食べることができたら、児童も祖父母の方たちも楽しい時間を過ごすことができるのではないだろうか。配膳や片付けのお手伝いをしていただけただけなら教職員ももっとゆっくりと児童たちと給食を楽しむことができるのではないか。</p> <p>こども支援員の方たちが通常の授業に集中することで教職員の授業における負担なども軽減できるのではないかと考え、学校現場で取り入れることを提案するが、市当局の見解について伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長